

科目名		キャリアデザイン1				年度	2024
英語表記						学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	働く意味について考える	仕事や働き方を選ぶ基準について理解する	1	働くということ	なぜ働くのかについて自由討論を実施する		
			2	趣味と仕事	趣味を仕事にできるかについて議論を実施する		
			3	転職	転職について議論を実施する		
2	なりたい自分を創る	自分が大切にしていることが何かを把握する	1	夢と希望	夢や希望を持っているかについて確認する		
			2	現実	人間関係、学力、成績、出席、悩みを吐露する		
			3	大切にしていること	誰にも負けないものを持っているかについて確認する		
3	学生と社会人の違いを認識する	学校で求められることと社会が必要としていることを理解する	1	学校におけるプライオリティ	学校ではとにかくプロセスを重視していることを理解する		
			2	社会におけるプライオリティ	社会では先ず結果を重視していることを認識する		
			3	プライオリティ・ギャップ	学校と社会におけるギャップを埋めるには、「生産性」ということを常に心得ておくことが重要である		
4	業種と企業について(1)	人に対するサービスを中心に業種と企業について理解する	1	対人サービス	対人サービスについて学ぶ		
			2	HRについて	企業における人事部の役割について学ぶ		
			3	企業分析	サービス業の企業分析を実施する		
5	業種と企業について(2)	事物に対するサービスを中心に業種と企業について理解する	1	物販サービス	物販サービスについて学ぶ		
			2	B2B	B2Bについて学ぶ		
			3	企業分析	物販業の企業分析を実施する		
6	職種について(1)	自分の生活との関わりから職種を理解する	1	技術職	技術職について理解する		
			2	営業職	営業職について理解する		
			3	研究職	研究職について理解する		
7	職種について(2)	職業の意味と多様性について理解する	1	総合職	総合職とはなにかについて理解する		
			2	一般職	一般職とはなにかについて理解する		
			3	専門職	専門職とはなにかについて理解する		
8	社会に出てから必要な力を養う(1)	読んで理解する力を養う	1	国語力	国語力とはなにかを理解する		
			2	読書	読書の大切さについて学習する		
			3	読解力	読解力の身に付け方について学習する		
9	社会に出てから必要な力を養う(2)	聴いて理解する力を養う	1	聞く力	他人の話をきく力の大切さを理解する		
			2	リテラシー	聞いたことを自分の中で咀嚼する能力について学習する		
			3	正しさ	何を以て正しいとするか、正しく評価することについて議論する		
10	社会に出てから必要な力を養う(3)	話して自分を伝える力を養う	1	プレゼンテーション	ストーリーを語ることの大切さを理解する		
			2	論理	話す内容に論理があることによって相手に腹落ちさせることの大切さを学ぶ		
			3	1分間スピーチ	1分間スピーチを実施する		
11	社会に出てから必要な力を養う(4)	書いて自分を伝える力を養う	1	PREP	短文でシンプルな論理を構築する習慣をつける		
			2	俯瞰	書いた文章を何度も読み返す習慣をつける		
			3	推敲	書いた文章は推敲を重ねることによって磨き上げなければならないということを理解する		
12	ゲスト・スピーチから学ぶ	社会で活躍している人による講演	1	行動心理学	カリフォルニア大学アーバイン校 教授 招聘予定		
			2	行動経済学	元 Apple Inc. バイスプレジデント 招聘予定		
			3	技術マネジメント	早稲田大学大学院・ビジネススクール教授 招聘予定		
13	協働するために必要な能力を養う(1)	言葉での意思疎通が出来る	1	報連相	報連相の重要性について学ぶ		
			2	コミュニケーション	コミュニケーション不足がまねく事例についてケーススタディする		
			3	リテラシー	相手の主張を理解する能力について学ぶ		
14	協働するために必要な能力を養う(2)	職場で必要とされるコミュニケーションが出来る	1	報連相	報連相のケーススタディ研究を実施する		
			2	ヒヤリハット	ヒヤリハットのケーススタディから学ぶ		
			3	組織の不祥事	組織の不祥事についてケーススタディする		
15	まとめ	全体総括	1	世間の常識と組織の常識	常識について理解する		
			2	リテラシー	リテラシー能力の醸成の大切さを学ぶ		
			3	コミュニケーション	コミュニケーションの重要性についておさらいする		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等